

# 福岡県環境負荷低減事業活動に関する指針

(農業編)

令和 7 年 3 月

福岡県農林水産部食の安全・地産地消課



# 目 次

## 第 1 福岡県環境負荷低減事業活動に関する基本的な考え方

- 1 指針策定の趣旨
- 2 環境負荷低減事業活動の定義
  - (1) 土づくり、化学肥料・化学農薬の使用削減の取組を一体的に行う事業活動（第 1 号活動）
    - ア 有機質資材等の施用技術（土づくり技術）
    - イ 化学肥料低減技術
    - ウ 化学農薬低減技術
  - (2) 温室効果ガスの排出量の削減に資する事業活動（第 2 号活動）
  - (3) その他の環境負荷低減事業活動（第 3 号活動）
- 3 指針策定の考え方

## 第 2 土づくり、化学肥料・化学農薬の使用削減の取組を一体的に行う事業活動（第 1 号活動）の内容

### [普通作]

- 1 水稲
- 2 麦
- 3 大豆

### [野菜（果菜類）]

- 4 きゅうり
- 5 すいか
- 6 メロン
- 7 しろうり
- 8 かぼちゃ
- 9 トマト
- 10 ミニトマト
- 11 なす
- 12 ピーマン
- 13 パプリカ
- 14 いちご
- 15 スイートコーン
- 16 オクラ
- 17 えんどう
- 18 いんげん
- 19 そらまめ
- 20 えだまめ
- 21 にがうり

- 2 2   とうがらし類
- 2 3   その他果菜類

[野菜（葉菜類）]

- 2 4   はくさい
- 2 5   キャベツ
- 2 6   ほうれんそう
- 2 7   しゅんぎく
- 2 8   レタス
- 2 9   リーフレタス
- 3 0   サラダ菜
- 3 1   たかな
- 3 2   セルリー
- 3 3   カリフラワー
- 3 4   ブロッコリー
- 3 5   にら
- 3 6   ねぎ
- 3 7   たまねぎ
- 3 8   アスパラガス
- 3 9   みょうが
- 4 0   ちんげんさい
- 4 1   山東菜
- 4 2   こまつな
- 4 3   なばな
- 4 4   しそ
- 4 5   パセリ
- 4 6   にんにく
- 4 7   みずな
- 4 8   かつおな
- 4 9   ふき
- 5 0   その他葉菜類

[野菜（根菜類）]

- 5 1   だいこん
- 5 2   かぶ
- 5 3   にんじん
- 5 4   ごぼう
- 5 5   しょうが
- 5 6   れんこん
- 5 7   やまのいも
- 5 8   さといも

- 5 9 ばれいしょ
- 6 0 かんしょ
- 6 1 ラディッシュ
- 6 2 その他根菜類

[果樹]

- 6 3 かんきつ（温州みかん、中晩生かんきつ）
- 6 4 かき
- 6 5 なし
- 6 6 ぶどう
- 6 7 もも
- 6 8 すもも
- 6 9 うめ
- 7 0 キウイフルーツ
- 7 1 いちじく
- 7 2 びわ
- 7 3 くり
- 7 4 りんご
- 7 5 その他果樹

[花き]

- 7 6 きく（施設）
- 7 7 きく（露地）
- 7 8 ばら
- 7 9 カーネーション
- 8 0 シンテッポウユリ
- 8 1 ダリア
- 8 2 ストック
- 8 3 トルコギキョウ
- 8 4 ガーベラ
- 8 5 りんどう
- 8 6 けいとう
- 8 7 切り枝
- 8 8 花木・緑化木
- 8 9 その他花き

[工芸作物]

- 9 0 茶
- 9 1 その他工芸作物

### 第3 温室効果ガスの排出量の削減に資する事業活動（第2号活動）の内容

### 第4 その他の環境負荷低減事業活動（第3号活動）の内容

### 第5 環境負荷低減事業活動の促進を図るための措置に関する事項

- 1 土壌診断の励行
- 2 適正で効率的な施肥の実施
- 3 発生予察に基づく的確な防除の実施

### ○ 参考資料

## 第1 福岡県環境負荷低減事業活動に関する基本的な考え方

### 1 指針策定の趣旨

近年、気候変動や生物多様性の危機など、農林水産物及び食品の生産から消費に至る食料システムを取り巻く環境は大きく変化しており、農業生産活動に伴う環境負荷の低減や、生産性向上を両立し、環境と調和のとれた食料システムの確立を図ることが、農業の持続的発展と食料の安定供給の確保の観点から重要となっている。

国においては、これらに対処し、農林漁業の持続的発展等を確保する観点から、令和3年5月に「みどりの食料システム戦略」が策定された。また、令和4年7月には、同戦略の実現を目指す法制度として、「環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律」（令和4年法律第37号。以下「みどりの食料システム法」という。）が施行された。国は、みどりの食料システム法、有機農業の推進に関する法律（平成18年法律第112号）、「環境保全型農業直接支払交付金」等の施策等を推進し、環境と調和のとれた農業の展開を図ることとしている。

これを踏まえ、本県では、みどりの食料システム法第16条第1項に基づき、令和5年3月に、福岡県環境負荷低減事業活動の促進に関する基本的な計画（以下「県基本計画」という。）を策定した。県基本計画では、福岡県農林水産振興基本計画における推進目標である「持続可能な農林水産業に向けたワンヘルス※の推進」を目標として位置付け、環境に配慮した農業を推進していくこととしている。

本指針は、みどりの食料システム法及び県基本計画の円滑な施行に資するため、農業分野における環境負荷低減事業活動の内容その他必要な事項を定めるものであり、本県においては、本指針に基づき、環境負荷低減事業活動実施計画（以下「実施計画」という。）を策定する農業者の確保・育成に努めることとする。

※ 人と動物の健康と、環境の健全性は、生態系の中で相互に密接につながり、強く影響し合う一つのもので、これらの健全な状態を一体的に守っていくという考え方。

### 2 環境負荷低減事業活動の定義（みどりの食料システム法第2条第4項）

みどりの食料システム法でいう「環境負荷低減事業活動」とは、農業者が当該農業者の行う農業の持続性の確保に資するよう、農業に由来する環境への負荷（以下「環境負荷」という。）の低減を図るために行う事業活動をいう（同項第1号～第3号）。

#### （1）土づくり、化学肥料・化学農薬の使用削減の取組を一体的に行う事業活動（第1号活動）

たい肥その他の有機質資材の施用に関する技術（有機質資材等の施用技術）、化学的に合成された肥料の施用を減少させる技術（化学肥料低減技術）、化学的に合成された農薬の使用を減少させる技術（化学農薬低減技術）を一体的に行う事業活動で、ふくおかエコ農産物認証制度や有機農業等の取組もこの事業活動に該当する。

##### ア 有機質資材等の施用技術（土づくり技術）

たい肥その他の有機質資材の施用に関する技術であって、土壌の性質を改善する効果が高い技術。土づくりは、土壌診断を参考に実施することとする。

##### ① たい肥等有機質資材施用技術

（炭素窒素比（C/N 比）が概ね10～150の範囲の有機質資材）

- ② 緑肥作物利用技術
- ③ その他技術

#### イ 化学肥料低減技術

肥料の施用に関する技術であって、化学的に合成された肥料の施用を減少させる効果が高い技術

- ① 局所施用技術
- ② 肥効調節型肥料施用技術
- ③ 有機質肥料施用技術
- ④ その他技術

#### ウ 化学農薬低減技術

有害動植物の防除に関する技術であって、化学的に合成された農薬の使用を減少させる効果が高い技術

- ① 温湯種子消毒技術
- ② 生物農薬利用技術
- ③ 対抗植物利用技術
- ④ 抵抗性品種栽培・台木利用技術
- ⑤ 天然物質由来農薬利用技術
- ⑥ 熱利用土壌消毒技術
- ⑦ 土壌還元消毒技術
- ⑧ 光利用技術
- ⑨ 被覆栽培技術
- ⑩ フェロモン剤利用技術
- ⑪ 機械除草技術
- ⑫ 除草用動物利用技術
- ⑬ 米ぬか利用技術
- ⑭ マルチ栽培技術
- ⑮ その他技術

### (2) 温室効果ガスの排出量の削減に資する事業活動（第2号活動）

省エネ施設・機械の導入、廃熱、バイオマス等の自然エネルギーや環境制御システムの活用等、収益性を確保しながら温室効果ガスの排出量の削減に資する取組が該当する。

### (3) その他の環境負荷低減事業活動（第3号活動）

みどりの食料システム法第2条第4項第3号及び環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律施行規則（令和4年農林水産省令第42号）第1条第1項の規定に基づき農林水産省告示第1413号で定める次の事業活動が該当する。

- ア 土壌を使用しない栽培技術を用いて行われ、かつ、化学的に合成された肥料及び農薬の施用及び使用を減少させる技術を用いた生産方式による事業活動
- イ 土壌への炭素の貯留に資する土壌改良資材を、農地又は採草放牧地に施用して行う生産方式による事業活動
- ウ 生分解性プラスチックを用いた資材の使用その他の取組によるプラスチックの排出若しくは流出の抑制又は化石資源由来のプラスチックの使用量の削減に資する生産方式による事業活動
- エ 地域において通常行われる施肥及び有害動植物の防除と比較して化学的に合成された肥料及び農薬の施用及び使用を減少させる技術並びに生物の多様性の保全その他の環境の保全に資する技術を組み合わせて用いる農業に関する技術を用いて行われる生産方式による事業活動

### 3 指針策定に当たっての考え方

第1号活動については、「有機質資材等の施用技術」、「化学肥料低減技術」及び「化学農薬低減技術」の3つの技術の区分に応じ、県内の主要な農作物毎の実施内容を第2に示した。また、「化学農薬低減技術」の具体的な実施内容については、「福岡県病虫害・雑草防除の手引き IPM の推進」も参考とすることとする。

なお、作物の種類や生産方式の内容等については、今後の情勢に応じて変更の必要性が生じてくると考えられるとともに、新しい技術の導入にあたっては、個々の営農条件に応じて技術の内容や経済性等の検討が必要である。

第2号活動及び第3号活動については、主な取組例毎に取組の概要等を第3及び第4に示した。

各作物共通の留意事項を、第5の「環境負荷低減事業活動の促進を図るための措置に関する事項」に示した。

農業者等は、上記に留意するとともに、各指導機関の技術的な支援を得て実施計画を作成、実施するものとする。

## 第2 土づくり、化学肥料・化学農薬の使用削減の取組を一体的に行う事業活動（第1号活動）の内容

[普通作]

### 1 水稻

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                                                                                                                                                                                 |                        |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | <p>○たい肥等有機質資材施用技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・稲わら又は麦わらのすき込みを実施する。</li> <li>・土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。</li> </ul> <p>○緑肥作物利用技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土壌診断を実施し、緑肥作物（レンゲ等）を播種し、田植前1ヵ月程度を目安にすき込みを行う。</li> </ul>        |                        |
| 化学肥料低減技術    | <p>○局所施用技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・側条施肥を実施する。</li> </ul> <p>○肥効調節型肥料施用技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全層施肥又は、側条施肥で施用する。</li> </ul> <p>○有機質肥料施用技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基肥もしくは追肥または両方で施用する。</li> </ul> |                        |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                                                                                                                                                                       | 対象病虫害等                 |
|             | ○温湯種子消毒技術                                                                                                                                                                                                                                                      | ばか苗病、いもち病、もみ枯細菌病、心枯線虫病 |
|             | ○機械除草技術                                                                                                                                                                                                                                                        | 雑草                     |
|             | ○除草用動物利用技術                                                                                                                                                                                                                                                     | 雑草、害虫                  |
|             | ○米ぬか利用技術                                                                                                                                                                                                                                                       | 雑草                     |
|             | ○マルチ栽培技術（紙マルチ）                                                                                                                                                                                                                                                 | 雑草                     |
| その他の留意事項    | <p>○たい肥を施用した場合は窒素分量に応じて基肥を削減する。</p> <p>○化学肥料をさらに削減する場合は、ナメ油粕等の速効性の有機物を組合わせる。</p>                                                                                                                                                                               |                        |

## 2 麦

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                        |         |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------|---------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・稲わらのすき込みを実施する。<br>・土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。 |         |
| 化学肥料低減技術    | ○有機質肥料施用技術<br>・基肥もしくは追肥または両方で施用する。                                    |         |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                              | 対象病虫害等  |
|             | ○温湯種子消毒技術                                                             | なまぐさ黒穂病 |
|             | ○機械除草技術                                                               | 雑草      |
| その他の留意事項    | ○機械除草技術は、カルチやレーキ等で3～4回程度行う。                                           |         |

## 3 大豆

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                     |           |
|-------------|----------------------------------------------------|-----------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。 |           |
| 化学肥料低減技術    | ○有機質肥料施用技術<br>・基肥で施用する。                            |           |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                           | 対象病虫害等    |
|             | ○生物農薬利用技術（B T 剤）                                   | ハスモンヨトリなど |
|             | ○機械除草技術                                            | 雑草        |
| その他の留意事項    | ○機械除草技術は、カルチやレーキ等で3～4回程度行う。                        |           |

[野菜（果菜類）]

4 きゅうり

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                                                                   |                          |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | <p>○たい肥等有機質資材施用技術</p> <p>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。</p>                                                                                   |                          |
| 化学肥料低減技術    | <p>○局所施用技術</p> <p>・ 側条施肥または点滴かん水施肥及び追肥体系とする。</p> <p>○肥効調節型肥料施用技術</p> <p>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。</p> <p>○有機質肥料施用技術</p> <p>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。</p> |                          |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                                                         | 対象病虫害等                   |
|             | ○生物農薬利用技術<br>(天敵昆虫・ダニ類)                                                                                                                          | アブラムシ類など                 |
|             | (天敵微生物)                                                                                                                                          | アブラムシ類など                 |
|             | (B T 剤)                                                                                                                                          | オオタバコガなど                 |
|             | ○抵抗性品種栽培・台木利用技術                                                                                                                                  | うどんこ病、べと病、褐斑病、つる割れ病      |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                                                                    | 病虫害                      |
|             | ○熱利用土壌消毒技術                                                                                                                                       | 立枯病、ネオブセンチュウ             |
|             | ○光利用技術（紫外線カットフィルム）                                                                                                                               | アブラムシ、アザミウマ、コナジラミ、ハモグリバエ |
|             | (赤色 L E D)                                                                                                                                       | ミミキイロアザミウマ               |
|             | ○被覆栽培技術（雨よけ）                                                                                                                                     | べと病、褐斑病、つる枯病、炭疽病         |
| その他の留意事項    | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                                                                                     | オオタバコガなど                 |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                                                                         | 雑草                       |

## 5 すいか

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                                        |                          |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                                   |                          |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥または点滴かん水施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。 |                          |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                              | 対象病虫害等                   |
|             | ○生物農薬利用技術<br>（天敵昆虫・ダニ類）                                                                                               | アブラムシ類など                 |
|             | （天敵微生物）                                                                                                               | アブラムシ類など                 |
|             | （B T 剤）                                                                                                               | オオハコガ など                 |
|             | ○抵抗性品種栽培・台木利用技術                                                                                                       | つる割れ病                    |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                                         | 病虫害                      |
|             | ○熱利用土壌消毒技術                                                                                                            | 立枯病、ネコブセンチュウ             |
|             | ○光利用技術（紫外線カットフィルム）                                                                                                    | アブラムシ、アザミウマ、コナジラミ、ハモグリバエ |
|             | ○被覆栽培技術（雨よけ）                                                                                                          | 疫病、つる枯病、炭疽病              |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                                                          | オオハコガ など                 |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                                              | 雑草                       |
| その他の留意事項    |                                                                                                                       |                          |

## 6 メロン

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                              |                                       |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                         |                                       |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。 |                                       |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                    | 対象病虫害等                                |
|             | ○生物農薬利用技術<br>(天敵昆虫・ダニ類)                                                                                     | アブラムシ類など                              |
|             | (天敵微生物)                                                                                                     | アブラムシ類など                              |
|             | (B T 剤)                                                                                                     | オオハコガなど                               |
|             | ○抵抗性品種栽培・台木利用技術                                                                                             | つる割れ病、うどんこ病                           |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                               | 病虫害                                   |
|             | ○熱利用土壌消毒技術                                                                                                  | 立枯病、ネオブセンチュウ                          |
|             | ○光利用技術（紫外線カットフィルム）<br>(赤色 L E D)                                                                            | アブラムシ、アザミウマ、コナジラミ、ハモグリバエ<br>ミミキイアザミウマ |
|             | ○被覆栽培技術（雨よけ）                                                                                                | つる枯病、疫病、炭疽病、べと病                       |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                                                | オオハコガなど                               |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                                    | 雑草                                    |
| その他の留意事項    |                                                                                                             |                                       |

## 7 しろうり

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                              |                         |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                         |                         |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。 |                         |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                    | 対象病虫害等                  |
|             | ○生物農薬利用技術<br>（天敵微生物）<br>（B T 剤）                                                                             | うどんこ病など<br>ヨウムシ類など      |
|             | ○抵抗性品種栽培・台木利用技術                                                                                             | つる割れ病                   |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                               | 病虫害                     |
|             | ○光利用技術（紫外線カットフィルム）                                                                                          | アブラムシ、アザミウマ、コジラミ、ハモグリバエ |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                                                | オオタバコガなど                |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                                    | 雑草                      |
| その他の留意事項    |                                                                                                             |                         |

## 8 かぼちゃ

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                              |                        |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                         |                        |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。 |                        |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                    | 対象病虫害等                 |
|             | ○生物農薬利用技術<br>（天敵微生物）<br>（B T 剤）                                                                             | ネコブセンチュウなど<br>ヨトウムシ類など |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                               | 病虫害                    |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                                                | オオタバコガなど               |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                                    | 雑草                     |
| その他の留意事項    |                                                                                                             |                        |

## 9 トマト

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                                        |                                 |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                                   |                                 |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥または点滴かん水施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。 |                                 |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                              | 対象病虫害等                          |
|             | ○生物農薬利用技術<br>（天敵昆虫・ダニ類）<br>（天敵微生物）<br>（B T 剤）                                                                         | アブラムシ類など<br>オオタバコガなど<br>灰色かび病など |
|             | ○抵抗性品種栽培・台木利用技術                                                                                                       | 青枯病、萎凋病、葉かび病、斑点病<br>ネコブセンチュウ    |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                                         | 病虫害                             |
|             | ○熱利用土壌消毒技術                                                                                                            | 青枯病                             |
|             | ○光利用技術（防蛾灯）<br>（U V - B）                                                                                              | ヤコ類<br>すすかび病、灰色かび病              |
|             | ○被覆栽培技術（雨よけ）                                                                                                          | 疫病                              |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                                                          | オオタバコガ、コナジラミ類、マメハモグリバエ          |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                                              | 雑草                              |
| その他の留意事項    |                                                                                                                       |                                 |

# 10 ミニトマト

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                                        |                                  |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                                   |                                  |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥または点滴かん水施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。 |                                  |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                              | 対象病虫害等                           |
|             | ○生物農薬利用技術<br>（天敵昆虫・ダニ類）<br>（天敵微生物）<br>（B T 剤）                                                                         | アブラムシ類など<br>オオタバコガ など<br>灰色かび病など |
|             | ○抵抗性品種栽培・台木利用技術                                                                                                       | 青枯病、萎凋病、葉かび病、斑点病<br>ネコフセンチュウ     |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                                         | 病虫害                              |
|             | ○熱利用土壌消毒技術                                                                                                            | 青枯病                              |
|             | ○光利用技術（防蛾灯）                                                                                                           | ヤガ類                              |
|             | ○被覆栽培技術（雨よけ）                                                                                                          | 疫病                               |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                                                          | オオタバコガ、コナジラミ類、マメハモグリバエ           |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                                              | 雑草                               |
| その他の留意事項    |                                                                                                                       |                                  |

# 1 1 なす

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                                                                   |                                     |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | <p>○たい肥等有機質資材施用技術</p> <p>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。</p>                                                                                   |                                     |
| 化学肥料低減技術    | <p>○局所施用技術</p> <p>・ 側条施肥または点滴かん水施肥及び追肥体系とする。</p> <p>○肥効調節型肥料施用技術</p> <p>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。</p> <p>○有機質肥料施用技術</p> <p>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。</p> |                                     |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                                                         | 対象病虫害等                              |
|             | ○生物農薬利用技術<br>(天敵昆虫・ダニ類)<br>(天敵微生物)<br>(B T 剤)                                                                                                    | アブラムシ類など<br>灰色かび病など<br>オオタバコガ など    |
|             | ○抵抗性品種栽培・台木利用技術                                                                                                                                  | 青枯病、萎凋病、半枯病                         |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                                                                    | 病虫害                                 |
|             | ○熱利用土壌消毒技術                                                                                                                                       | 青枯病、萎凋病、白絹病                         |
|             | ○光利用技術（赤色LED）<br>(UV-B)                                                                                                                          | ミナミキイロアザミウマ<br>すすかび病、灰色かび病          |
|             | ○被覆栽培技術（雨よけ）                                                                                                                                     | 疫病                                  |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                                                                                     | オオタバコガ、コナジラミ、アザミウマ類<br>アブラムシ、ハモグリハエ |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                                                                         | 雑草                                  |
| その他の留意事項    |                                                                                                                                                  |                                     |

## 12 ピーマン

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                              |                                     |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                         |                                     |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。 |                                     |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                    | 対象病虫害等                              |
|             | ○生物農薬利用技術<br>（天敵昆虫・ダニ類）<br>（天敵微生物）<br>（ＢＴ剤）                                                                 | アブラムシ類、アザミウマ類など<br>灰色かび病<br>オオハコガなど |
|             | ○抵抗性品種栽培・台木利用技術                                                                                             | 青枯病、モザイク病など                         |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                               | 病虫害                                 |
|             | ○熱利用土壌消毒技術                                                                                                  | 青枯病、白絹病                             |
|             | ○光利用技術（紫外線カットフィルム）                                                                                          | アザミウマ類、コナジラミ類                       |
|             | ○被覆栽培技術（雨よけ）                                                                                                | 疫病                                  |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                                                | オオハコガなど                             |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                                    | 雑草                                  |
| その他の留意事項    |                                                                                                             |                                     |

### 1 3 パブリカ

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                              |                                       |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                         |                                       |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。 |                                       |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                    | 対象病虫害等                                |
|             | ○生物農薬利用技術<br>（天敵昆虫・ダニ類）<br>（天敵微生物）<br>（B T 剤）                                                               | アブラムシ類、アザミウマ類など<br>灰色かび病<br>オオハバコガ など |
|             | ○抵抗性品種栽培・台木利用技術                                                                                             | 青枯病、疫病                                |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                               | 病虫害                                   |
|             | ○熱利用土壌消毒技術                                                                                                  | 青枯病、白絹病など                             |
|             | ○光利用技術（紫外線カットフィルム）<br>（防蛾灯）                                                                                 | アブラムシ、アザミウマ、コナジラミなど<br>ヤガ 類           |
|             | ○被覆栽培技術（雨よけ）                                                                                                | 疫病など                                  |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                                                | オオハバコガ など                             |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                                    | 雑草                                    |
| その他の留意事項    |                                                                                                             |                                       |

## 14 いちご

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                              |                                    |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                         |                                    |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。 |                                    |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                    | 対象病虫害等                             |
|             | ○生物農薬利用技術<br>(天敵昆虫・ダニ類)<br>(天敵微生物)<br>(BT剤)                                                                 | ハダニ類・アザミヤ類など<br>オオハコガなど<br>灰色かび病など |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                               | 病虫害                                |
|             | ○熱利用土壌消毒技術                                                                                                  | 萎黄病、センチュウ                          |
|             | ○光利用技術（防蛾灯）<br>(赤色 LED)<br>(UV-B)                                                                           | ヤガ類<br>アザミヤ類<br>うどんこ病              |
|             | ○被覆栽培技術（親株、育苗）                                                                                              | 炭疽病、輪斑病                            |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                                                | オオハコガなど                            |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                                    | 雑草                                 |
| その他の留意事項    |                                                                                                             |                                    |

## 15 スイートコーン

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                              |                              |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                         |                              |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。 |                              |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                    | 対象病虫害等                       |
|             | ○生物農薬利用技術<br>（天敵昆虫・ダニ類）                                                                                     | アブラムシ類など                     |
|             | （天敵微生物）                                                                                                     | アブラムシ類など                     |
|             | （B T 剤）                                                                                                     | アワノメイガ など                    |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                               | 病虫害                          |
|             | ○光利用技術（シルバーマルチ）<br>（防蛾灯）                                                                                    | アブラムシ類など<br>アワノメイガ、オオタバコガ など |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                                                | アワノメイガ など                    |
| その他の留意事項    | ○マルチ栽培技術                                                                                                    | 雑草                           |
|             |                                                                                                             |                              |

## 16 オクラ

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                              |                                  |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                         |                                  |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。 |                                  |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                    | 対象病虫害等                           |
|             | ○生物農薬利用技術<br>（天敵昆虫・ダニ類）<br>（天敵微生物）<br>（B T 剤）                                                               | アブラムシ類など<br>灰色かび病など<br>オオタバコガ など |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                               | 病虫害                              |
|             | ○光利用技術（シルバーマルチ）                                                                                             | アブラムシ類など                         |
|             | ○被覆栽培技術（雨よけ）                                                                                                | 苗立枯病                             |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                                                | オオタバコガ など                        |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                                    | 雑草                               |
| その他の留意事項    |                                                                                                             |                                  |

## 17 えんどう

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                              |           |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                         |           |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。 |           |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                    | 対象病虫害等    |
|             | ○生物農薬利用技術（B T 剤）                                                                                            | シロイモジヨウなど |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                               | 病虫害       |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                                                | シロイモジヨウなど |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                                    | 雑草        |
| その他の留意事項    |                                                                                                             |           |

## 18 いんげん

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                              |                                |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                         |                                |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。 |                                |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                    | 対象病虫害等                         |
|             | ○生物農薬利用技術<br>（天敵昆虫・ダニ類）<br>（天敵微生物）<br>（B T 剤）                                                               | ハダニ類など<br>アブラムシ類など<br>オオハバコガなど |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                               | 病虫害                            |
|             | ○光利用技術（シルバーマルチ）                                                                                             | アブラムシ類など                       |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                                                | アヲノメガなど                        |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                                    | 雑草                             |
| その他の留意事項    |                                                                                                             |                                |

## 19 そらまめ

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                              |          |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                         |          |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。 |          |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                    | 対象病虫害等   |
|             | ○生物農薬利用技術（ＢＴ剤）                                                                                              | ヨトウムシ類など |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                               | 病虫害      |
|             | ○光利用技術（シルバーマルチ）                                                                                             | アブラムシ類など |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                                    | 雑草       |
| その他の留意事項    |                                                                                                             |          |

## 20 えだまめ

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                              |                                   |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                         |                                   |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。 |                                   |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                    | 対象病虫害等                            |
|             | ○生物農薬利用技術<br>（天敵昆虫・ダニ類）<br>（天敵微生物）<br>（B T 剤）                                                               | アブラムシ類など<br>アブラムシ類など<br>オオハバコガ など |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                               | 病虫害                               |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                                    | 雑草                                |
| その他の留意事項    |                                                                                                             |                                   |

## 2 1 にがうり

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                              |          |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                         |          |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。 |          |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                    | 対象病虫害等   |
|             | ○生物農薬利用技術<br>（天敵昆虫・ダニ類）                                                                                     | アブラムシ類など |
|             | （天敵微生物）                                                                                                     | アブラムシ類など |
|             | （B T 剤）                                                                                                     | オオタバコガなど |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                               | 病虫害      |
|             | ○光利用技術（シルバーマルチ）                                                                                             | アブラムシ類など |
|             | ○被覆栽培技術（雨よけ）                                                                                                | べと病      |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                                                | オオタバコガなど |
| その他の留意事項    | ○マルチ栽培技術                                                                                                    | 雑草       |
|             |                                                                                                             |          |

## 2.2 とוגらし類

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                              |                                   |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壤診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                         |                                   |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。 |                                   |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                    | 対象病虫害等                            |
|             | ○生物農薬利用技術<br>（天敵昆虫・ダニ類）<br>（天敵微生物）<br>（B T 剤）                                                               | アブラムシ類など<br>アブラムシ類など<br>オオタバコガ など |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                               | 病虫害                               |
|             | ○光利用技術（シルバーマルチ）                                                                                             | アブラムシ類など                          |
|             | ○被覆栽培技術（雨よけ）                                                                                                | 斑点細菌病                             |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                                                | オオタバコガ など                         |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                                    | 雑草                                |
|             |                                                                                                             |                                   |
| その他の留意事項    |                                                                                                             |                                   |

## 2 3 その他果菜類

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                                                  |            |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br><br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                                         |            |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br><br>・ 局所施肥及び追肥体系とする。<br><br>○肥効調節型肥料施用技術<br><br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br><br>○有機質肥料施用技術<br><br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。 |            |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                                        | 対象病虫害等     |
|             | ○生物農薬利用技術                                                                                                                       | 申請時に別途協議する |
|             | ○抵抗性品種栽培・台木利用技術                                                                                                                 |            |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                                                   |            |
|             | ○熱利用土壌消毒技術                                                                                                                      |            |
|             | ○光利用技術                                                                                                                          |            |
|             | ○被覆栽培技術                                                                                                                         |            |
|             | ○フェロモン剤利用技術                                                                                                                     |            |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                                                        |            |
| その他の留意事項    |                                                                                                                                 |            |

[野菜（葉菜類）]

2 4 はくさい

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                                                 |                    |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | <p>○たい肥等有機質資材施用技術</p> <p>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。</p>                                                                 |                    |
| 化学肥料低減技術    | <p>○局所施用技術</p> <p>・ 側条施肥及び追肥体系とする。</p> <p>○肥効調節型肥料施用技術</p> <p>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。</p> <p>○有機質肥料施用技術</p> <p>・ 有機質肥料を施用する。</p> |                    |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                                       | 対象病虫害等             |
|             | ○生物農薬利用技術<br>(BT剤)<br>(天敵微生物)                                                                                                  | コナガ、ヨトウムシなど<br>軟腐病 |
|             | ○抵抗性品種栽培技術                                                                                                                     | 根こぶ病               |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                                                  | 病虫害                |
|             | ○フェロモン剤利用技術                                                                                                                    | ハスモンヨトウ、コナガ、オオタバコガ |
|             | ○機械除草技術                                                                                                                        | 雑草                 |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                                                       | 雑草                 |
| その他の留意事項    |                                                                                                                                |                    |

## 25 キャベツ

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                      |                    |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                 |                    |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 有機質肥料を施用する。 |                    |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                            | 対象病虫害等             |
|             | ○生物農薬利用技術<br>(天敵微生物)<br>(BT剤)                                                                       | 軟腐病<br>コナガ、ヨウムシなど  |
|             | ○対抗植物利用技術                                                                                           | 根こぶ病               |
|             | ○抵抗性品種栽培技術                                                                                          | 萎黄病                |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                       | 病虫害                |
|             | ○フェロモン剤利用技術                                                                                         | ハスモンヨトウ、コナガ、オオタバコガ |
|             | ○機械除草技術                                                                                             | 雑草                 |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                            | 雑草                 |
| その他の留意事項    |                                                                                                     |                    |

## 26 ほうれんそう

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                      |          |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                 |          |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 有機質肥料を施用する。 |          |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                            | 対象病虫害等   |
|             | ○生物農薬利用技術<br>(天敵昆虫・ダニ類)                                                                             | アブラムシ類など |
|             | (天敵微生物)                                                                                             | アブラムシ類など |
|             | (B T 剤)                                                                                             | オオハコガなど  |
|             | ○抵抗性品種栽培技術                                                                                          | べと病      |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                       | 病虫害      |
|             | ○被覆栽培技術（雨よけ）                                                                                        | 苗立枯病     |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                                        | ヨトウムシなど  |
| その他の留意事項    | ○マルチ栽培技術                                                                                            | 雑草       |
|             |                                                                                                     |          |

## 27 しゅんぎく

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                      |           |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                 |           |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 有機質肥料を施用する。 |           |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                            | 対象病虫害等    |
|             | ○生物農薬利用技術<br>(天敵昆虫・ダニ類)                                                                             | アブラムシ類など  |
|             | (天敵微生物)                                                                                             | アブラムシ類など  |
|             | (B T 剤)                                                                                             | オオハバコガ など |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                       | 病虫害       |
|             | ○被覆栽培技術（雨よけ）                                                                                        | べと病       |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                                        | ヨトウムシなど   |
| その他の留意事項    |                                                                                                     |           |

## 28 レタス

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                      |                                |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                 |                                |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 有機質肥料を施用する。 |                                |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                            | 対象病虫害等                         |
|             | ○生物農薬利用技術<br>（天敵昆虫・ダニ類）<br>（天敵微生物）<br>（B T 剤）                                                       | アブラムシ類など<br>軟腐病など<br>オオタバコガ など |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                       | 病虫害                            |
|             | ○光利用技術（防蛾灯）                                                                                         | ヤガ 類                           |
|             | ○被覆栽培技術（雨よけ）                                                                                        | 軟腐病                            |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                                        | ヨトウムシなど                        |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                            | 雑草                             |
| その他の留意事項    |                                                                                                     |                                |

## 29 リーフレタス

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                      |                                   |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                 |                                   |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 有機質肥料を施用する。 |                                   |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                            | 対象病虫害等                            |
|             | ○生物農薬利用技術<br>(天敵昆虫・ダニ類)<br>(天敵微生物)<br>(B T 剤)                                                       | アブラムシ類など<br>アブラムシ類など<br>オオハバコガ など |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                       | 病虫害                               |
|             | ○光利用技術（防蛾灯）                                                                                         | ヤガ 類                              |
|             | ○被覆栽培技術（雨よけ）                                                                                        | 軟腐病                               |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                                        | ヨトウムシなど                           |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                            | 雑草                                |
| その他の留意事項    |                                                                                                     |                                   |

### 30 サラダ菜

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                      |                                   |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                 |                                   |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 有機質肥料を施用する。 |                                   |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                            | 対象病虫害等                            |
|             | ○生物農薬利用技術<br>(天敵昆虫・ダニ類)<br>(天敵微生物)<br>(B T 剤)                                                       | アブラムシ類など<br>アブラムシ類など<br>オオハバコガ など |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                       | 病虫害                               |
|             | ○熱利用土壌消毒技術                                                                                          | 根腐病                               |
|             | ○被覆栽培技術（雨よけ）                                                                                        | 軟腐病                               |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                                        | ヨトウムシなど                           |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                            | 雑草                                |
| その他の留意事項    |                                                                                                     |                                   |

### 3 1 たかな

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                      |             |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                 |             |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 有機質肥料を施用する。 |             |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                            | 対象病虫害等      |
|             | ○生物農薬利用技術<br>(天敵微生物)<br>(BT剤)                                                                       | 軟腐病<br>コナなど |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                       | 病虫害         |
|             | ○機械除草技術                                                                                             | 雑草          |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                            | 雑草          |
| その他の留意事項    |                                                                                                     |             |

### 3 2 セルリー

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                      |                                 |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                 |                                 |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 有機質肥料を施用する。 |                                 |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                            | 対象病虫害等                          |
|             | ○生物農薬利用技術<br>(天敵昆虫・ダニ類)<br>(天敵微生物)<br>(B T 剤)                                                       | アブラムシ類など<br>アブラムシ類など<br>オオハコガなど |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                       | 病虫害                             |
|             | ○熱利用土壌消毒技術                                                                                          | 萎黄病                             |
|             | ○被覆栽培技術（雨よけ）                                                                                        | 軟腐病                             |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                                        | マメハモグリハエ、オオハコガなど                |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                            | 雑草                              |
| その他の留意事項    |                                                                                                     |                                 |

### 3.3 カリフラワー

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                      |                   |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                 |                   |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 有機質肥料を施用する。 |                   |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                            | 対象病虫害等            |
|             | ○生物農薬利用技術<br>(天敵微生物)<br>(BT剤)                                                                       | 軟腐病<br>コナガ、ヨウムシなど |
|             | ○対抗植物利用技術                                                                                           | 根こぶ病              |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                       | 病虫害               |
|             | ○フェロモン剤利用技術                                                                                         | ハスモンヨウ、コナガ、オオタバコガ |
|             | ○機械除草技術                                                                                             | 雑草                |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                            | 雑草                |
| その他の留意事項    |                                                                                                     |                   |

### 3 4 ブロッコリー

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                      |                    |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                 |                    |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 有機質肥料を施用する。 |                    |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                            | 対象病虫害等             |
|             | ○生物農薬利用技術<br>(天敵微生物)<br>(BT剤)                                                                       | 軟腐病<br>コナガ、ヨトウムシなど |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                       | 病虫害                |
|             | ○フェロモン剤利用技術                                                                                         | ハスモンヨトウ、コナガ、オオタバコガ |
|             | ○機械除草技術                                                                                             | 雑草                 |
|             | ○対抗植物利用技術                                                                                           | 根こぶ病               |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                            | 雑草                 |
| その他の留意事項    |                                                                                                     |                    |

### 3.5 にら

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                      |           |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                 |           |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 有機質肥料を施用する。 |           |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                            | 対象病虫害等    |
|             | ○生物農薬利用技術<br>(天敵昆虫・ダニ類)                                                                             | アブラムシ類など  |
|             | (天敵微生物)                                                                                             | アブラムシ類など  |
|             | (B T 剤)                                                                                             | ヨトウムシなど   |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                       | 病虫害       |
|             | ○熱利用土壌消毒技術                                                                                          | 乾腐病       |
|             | ○光利用技術（シルバーマルチ）                                                                                     | アブラムシ類など  |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                                        | ハモグリバエ類など |
| その他の留意事項    | ○被覆栽培技術（雨よけ）                                                                                        | 白斑葉枯れ病    |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                            | 雑草        |

### 36 ねぎ

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                      |              |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                 |              |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 有機質肥料を施用する。 |              |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                            | 対象病虫害等       |
|             | ○生物農薬利用技術<br>(天敵昆虫・ダニ類)                                                                             | アブラムシ類など     |
|             | (天敵微生物)                                                                                             | アブラムシ類など     |
|             | (B T 剤)                                                                                             | ヨトウムシなど      |
|             | ○抵抗性品種栽培技術                                                                                          | 疫病など         |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                       | 病虫害          |
|             | ○熱利用土壌消毒技術                                                                                          | 萎凋病          |
|             | ○光利用技術（紫外線カットフィルム）                                                                                  | アザミウマ、ハモグリハエ |
|             | ○被覆栽培技術（雨よけ）                                                                                        | べと病          |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                                        | ハモグリハエなど     |
| その他の留意事項    | ○機械除草技術                                                                                             | 雑草           |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                            | 雑草           |

### 3.7 たまねぎ

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                      |               |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                 |               |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 有機質肥料を施用する。 |               |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                            | 対象病虫害等        |
|             | ○生物農薬利用技術<br>(天敵微生物)<br>(BT剤)                                                                       | 軟腐病<br>ヨウムシなど |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                       | 病虫害           |
|             | ○機械除草技術                                                                                             | 雑草            |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                            | 雑草            |
| その他の留意事項    |                                                                                                     |               |

### 3 8 アスパラガス

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                      |                                 |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                 |                                 |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 有機質肥料を施用する。 |                                 |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                            | 対象病虫害等                          |
|             | ○生物農薬利用技術<br>(天敵昆虫・ダニ類)<br>(天敵微生物)<br>(B T 剤)                                                       | アブラムシ類など<br>アブラムシ類など<br>ヨトウムシなど |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                       | 病虫害                             |
|             | ○光利用技術（紫外線カットフィルム）<br>(紫外線カットフィルム)<br>(黄色灯)                                                         | アザミウマ、アブラムシなど<br>ヤコブ類           |
|             | ○被覆栽培技術（雨よけ）                                                                                        | 茎枯れ病                            |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                                        | ヨトウムシなど                         |
|             | ○フェロモン剤利用技術                                                                                         | ハスモンヨトウ、オオタバコガ                  |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                            | 雑草                              |
| その他の留意事項    |                                                                                                     |                                 |

### 3.9 みょうが

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                      |        |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                 |        |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 有機質肥料を施用する。 |        |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                            | 対象病虫害等 |
|             | ○生物農薬利用技術（B T 剤）                                                                                    | ヨウムシなど |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                       | 病虫害    |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                                        | ヨウムシなど |
|             | ○被覆栽培技術（雨よけ）                                                                                        | 根茎腐敗病  |
| その他の留意事項    |                                                                                                     |        |

#### 40 ちんげんさい

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                      |                                      |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                 |                                      |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 有機質肥料を施用する。 |                                      |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                            | 対象病虫害等                               |
|             | ○生物農薬利用技術<br>(天敵昆虫・ダニ類)<br>(天敵微生物)<br>(B T 剤)                                                       | アブラムシ類など<br>アブラムシ類、軟腐病<br>コガ、ヨトウムシなど |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                       | 病虫害                                  |
|             | ○熱利用土壌消毒技術                                                                                          | 立枯病                                  |
|             | ○光利用技術（紫外線カットフィルム）                                                                                  | アブラムシ類など                             |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                                        | コガなど、ヨトウムシなど                         |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                            | 雑草                                   |
| その他の留意事項    |                                                                                                     |                                      |

#### 4 1 山東菜

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                      |                                       |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                 |                                       |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 有機質肥料を施用する。 |                                       |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                            | 対象病虫害等                                |
|             | ○生物農薬利用技術<br>(天敵昆虫・ダニ類)<br>(天敵微生物)<br>(B T 剤)                                                       | アブラムシ類など<br>アブラムシ類、軟腐病<br>コナガ、ヨトウムシなど |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                       | 病虫害                                   |
|             | ○光利用技術（紫外線カットフィルム）                                                                                  | アブラムシ類など                              |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                                        | コナガ、ヨトウムシなど                           |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                            | 雑草                                    |
| その他の留意事項    |                                                                                                     |                                       |

## 4 2 こまつな

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                      |                                       |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                 |                                       |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 有機質肥料を施用する。 |                                       |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                            | 対象病虫害等                                |
|             | ○生物農薬利用技術<br>(天敵昆虫・ダニ類)<br>(天敵微生物)<br>(B T 剤)                                                       | アブラムシ類など<br>アブラムシ類、軟腐病<br>コナガ、ヨトウムシなど |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                       | 病虫害                                   |
|             | ○光利用技術（紫外線カットフィルム）                                                                                  | アブラムシ類など                              |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                                        | コナガ、ヨトウムシなど                           |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                            | 雑草                                    |
| その他の留意事項    |                                                                                                     |                                       |

### 4 3 なばな

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                    |              |
|-------------|-----------------------------------|--------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術                    |              |
|             | ・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。 |              |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術                           |              |
|             | ・ 側条施肥及び追肥体系とする。                  |              |
|             | ○肥効調節型肥料施用技術                      |              |
|             | ・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。             |              |
|             | ○有機質肥料施用技術                        |              |
|             | ・ 有機質肥料を施用する。                     |              |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                          | 対象病虫害等       |
|             | ○生物農薬利用技術<br>(B T 剤)<br>(天敵微生物)   | コガネなど<br>軟腐病 |
|             | ○対抗植物利用技術                         | 根こぶ病         |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                     | 病虫害          |
|             | ○機械除草技術                           | 雑草           |
|             | ○マルチ栽培技術                          | 雑草           |
| その他の留意事項    |                                   |              |

#### 4 4 しそ

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                      |          |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                 |          |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 有機質肥料を施用する。 |          |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                            | 対象病虫害等   |
|             | ○生物農薬利用技術<br>(天敵昆虫・ダニ類)                                                                             | アブラムシ類など |
|             | (天敵微生物)                                                                                             | アブラムシ類など |
|             | (B T 剤)                                                                                             | ヨトウムシなど  |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                       | 病虫害      |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                                        | ヨトウムシなど  |
| その他の留意事項    | ○フェロモン剤利用技術                                                                                         | ハスモンヨトウ  |
|             |                                                                                                     |          |

## 4 5 パセリ

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                      |                                 |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                 |                                 |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 有機質肥料を施用する。 |                                 |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                            | 対象病虫害等                          |
|             | ○生物農薬利用技術<br>(天敵昆虫・ダニ類)<br>(天敵微生物)<br>(B T 剤)                                                       | アブラムシ類など<br>アブラムシ類など<br>ヨトウムシなど |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                       | 病虫害                             |
|             | ○光利用技術（紫外線カットフィルム）<br>(U V - B)                                                                     | アザミウマ、アブラムシ類など<br>うどんこ病         |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                                        | ヨトウムシなど                         |
|             | ○被覆栽培技術（雨よけ）                                                                                        | 軟腐病                             |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                            | 雑草                              |
| その他の留意事項    |                                                                                                     |                                 |

#### 4 6 にんにく

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                      |                 |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                 |                 |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 有機質肥料を施用する。 |                 |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                            | 対象病虫害等          |
|             | ○生物農薬利用技術<br>(天敵微生物)<br>(B T 剤)                                                                     | 軟腐病<br>ネコギなど    |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                       | 病虫害             |
|             | ○光利用技術 (シルバーマルチ)                                                                                    | アブラムシ、ハモグリハエ など |
|             | ○被覆栽培技術(防虫網)                                                                                        | ネコギなど           |
|             | ○機械除草技術                                                                                             | 雑草              |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                            | 雑草              |
| その他の留意事項    |                                                                                                     |                 |

#### 4.7 みずな

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                      |                                       |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                 |                                       |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 有機質肥料を施用する。 |                                       |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                            | 対象病虫害等                                |
|             | ○生物農薬利用技術<br>（天敵昆虫・ダニ類）<br>（天敵微生物）<br>（B T 剤）                                                       | アブラムシ類など<br>アブラムシ類、軟腐病<br>コナガ、ヨトウムシなど |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                       | 病虫害                                   |
|             | ○光利用技術（紫外線カットフィルム）                                                                                  | アザミウマ、ハモグリバエ、アブラムシ類など                 |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                                        | コナガ、ヨトウムシなど                           |
| その他の留意事項    |                                                                                                     |                                       |

#### 4 8 かつおな

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                      |                    |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                 |                    |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 有機質肥料を施用する。 |                    |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                            | 対象病虫害等             |
|             | ○生物農薬利用技術<br>(B T 剤)<br>(天敵微生物)                                                                     | コナガ、ヨトウムシなど<br>軟腐病 |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                       | 病虫害                |
|             | ○機械除草技術                                                                                             | 雑草                 |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                            | 雑草                 |
| その他の留意事項    |                                                                                                     |                    |

## 4 9 ふき

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                        |                                       |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・定植後に乾燥と地温の上昇を防ぐために施用する切りわらを全量還元する。                                 |                                       |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・基肥で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・有機質肥料を施用する。 |                                       |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                              | 対象病虫害等                                |
|             | ○生物農薬利用技術<br>（天敵昆虫・ダニ類）<br>（天敵微生物）<br>（B T 剤）                                         | アブラムシ類など<br>アブラムシ類、灰色かび病など<br>ヨトウムシなど |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                         | 病虫害                                   |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                          | ヨトウムシなど                               |
| その他の留意事項    |                                                                                       |                                       |

## 5 0 その他葉菜類

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                                                  |            |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br><br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                                         |            |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br><br>・ 局所施肥及び追肥体系とする。<br><br>○肥効調節型肥料施用技術<br><br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br><br>○有機質肥料施用技術<br><br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。 |            |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                                        | 対象病虫害等     |
|             | ○生物農薬利用技術                                                                                                                       | 申請時に別途協議する |
|             | ○対抗植物利用技術                                                                                                                       |            |
|             | ○抵抗性品種栽培技術                                                                                                                      |            |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                                                   |            |
|             | ○熱利用土壌消毒技術                                                                                                                      |            |
|             | ○光利用技術                                                                                                                          |            |
|             | ○被覆栽培技術                                                                                                                         |            |
|             | ○フェロモン剤利用技術                                                                                                                     |            |
|             | ○機械除草技術                                                                                                                         |            |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                                                        |            |
| その他の留意事項    |                                                                                                                                 |            |

[野菜（根菜類）]

5 1 だいこん

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                                                 |              |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|
| 有機質資材等の施用技術 | <p>○たい肥等有機質資材施用技術</p> <p>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。</p>                                                                 |              |
| 化学肥料低減技術    | <p>○局所施用技術</p> <p>・ 側条施肥及び追肥体系とする。</p> <p>○肥効調節型肥料施用技術</p> <p>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。</p> <p>○有機質肥料施用技術</p> <p>・ 有機質肥料を施用する。</p> |              |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                                       | 対象病虫害等       |
|             | ○生物農薬利用技術<br>(天敵微生物)<br>(BT剤)                                                                                                  | 軟腐病<br>コナガなど |
|             | ○対抗植物利用技術                                                                                                                      | センチュウ        |
|             | ○抵抗性品種栽培技術                                                                                                                     | 萎黄病、ウイルス病    |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                                                  | 病虫害          |
|             | ○光利用技術（シルバーマルチ）                                                                                                                | アブラムシ類など     |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                                                                   | コナガなど        |
|             | ○機械除草技術                                                                                                                        | 雑草           |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                                                       | 雑草           |
| その他の留意事項    |                                                                                                                                |              |

## 5 2 かぶ

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                      |                                 |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                 |                                 |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 有機質肥料を施用する。 |                                 |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                            | 対象病虫害等                          |
|             | ○生物農薬利用技術<br>(天敵昆虫・ダニ類)<br>(天敵微生物)<br>(B T 剤)                                                       | アブラムシ類など<br>アブラムシ類、軟腐病<br>コナガなど |
|             | ○抵抗性品種栽培技術                                                                                          | 根こぶ病                            |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                       | 病虫害                             |
|             | ○光利用技術（シルバーマルチ）                                                                                     | アブラムシ類など                        |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                                        | コナガなど                           |
|             | ○機械除草技術                                                                                             | 雑草                              |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                            | 雑草                              |
| その他の留意事項    |                                                                                                     |                                 |

### 5.3 にんじん

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                      |                 |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                 |                 |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 有機質肥料を施用する。 |                 |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                            | 対象病虫害等          |
|             | ○生物農薬利用技術<br>(天敵微生物)<br>(BT剤)                                                                       | 軟腐病など<br>ヨウムシなど |
|             | ○対抗植物利用技術                                                                                           | ネコブセンチュウ        |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                       | 病虫害             |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                                        | ヨウムシなど          |
|             | ○機械除草技術                                                                                             | 雑草              |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                            | 雑草              |
| その他の留意事項    |                                                                                                     |                 |

## 5 4 ごぼう

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                      |                     |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                 |                     |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 有機質肥料を施用する。 |                     |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                            | 対象病虫害等              |
|             | ○生物農薬利用技術<br>(天敵昆虫・ダニ類)<br>(天敵微生物)                                                                  | アブラムシ類など<br>うどんこ病など |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                       | 病虫害                 |
|             | ○光利用技術（シルバーマルチ）                                                                                     | アブラムシ類など            |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                                        | アブラムシ類など            |
|             | ○機械除草技術                                                                                             | 雑草                  |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                            | 雑草                  |
| その他の留意事項    |                                                                                                     |                     |

## 5.5 しょうが

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                      |                                         |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                 |                                         |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 有機質肥料を施用する。 |                                         |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                            | 対象病虫害等                                  |
|             | ○生物農薬利用技術<br>(天敵昆虫・ダニ類)<br>(天敵微生物)<br>(B T 剤)                                                       | アブラムシ類など<br>アブラムシ類、ネオセンチュウなど<br>オオハコガなど |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                       | 病虫害                                     |
|             | ○光利用技術（紫外線カットフィルム）                                                                                  | アブラムシ類など                                |
|             | ○被覆栽培技術（雨よけ）                                                                                        | 根茎腐敗病                                   |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                                        | アヲノメイガなど                                |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                            | 雑草                                      |
| その他の留意事項    |                                                                                                     |                                         |

## 5 6 れんこん

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                      |        |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                 |        |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 有機質肥料を施用する。 |        |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                            | 対象病虫害等 |
|             | ○生物農薬利用技術（B T 剤）                                                                                    | ヨウムシなど |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                       | 病虫害    |
| その他の留意事項    |                                                                                                     |        |

## 5 7 やまのいも

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                      |        |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                 |        |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 有機質肥料を施用する。 |        |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                            | 対象病虫害等 |
|             | ○生物農薬利用技術（B T 剤）                                                                                    | ヨウムシなど |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                       | 病虫害    |
|             | ○機械除草技術                                                                                             | 雑草     |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                            | 雑草     |
| その他の留意事項    |                                                                                                     |        |

## 58 さといも

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                      |                     |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                 |                     |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 有機質肥料を施用する。 |                     |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                            | 対象病虫害等              |
|             | ○生物農薬利用技術<br>(B T 剤)<br>(天敵微生物)                                                                     | ヨトウムシなど<br>ネコブセンチュウ |
|             | ○対抗植物利用技術                                                                                           | ネコブセンチュウ            |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                       | 病虫害                 |
|             | ○機械除草技術                                                                                             | 雑草                  |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                            | 雑草                  |
| その他の留意事項    |                                                                                                     |                     |

## 5.9 ばれいしょ

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                      |               |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                 |               |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 有機質肥料を施用する。 |               |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                            | 対象病虫害等        |
|             | ○生物農薬利用技術<br>(天敵微生物)<br>(B T 剤)                                                                     | 軟腐病<br>ヨウムシなど |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                       | 病虫害           |
|             | ○機械除草技術                                                                                             | 雑草            |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                            | 雑草            |
| その他の留意事項    |                                                                                                     |               |

## 60 かんしょ

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                      |                     |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                 |                     |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 側条施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 有機質肥料を施用する。 |                     |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                            | 対象病虫害等              |
|             | ○生物農薬利用技術<br>(天敵微生物)<br>(B T 剤)                                                                     | ネコブセンチュウ<br>ヨトウムシなど |
|             | ○対抗植物利用技術                                                                                           | ネコブセンチュウ            |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                       | 病虫害                 |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                            | 雑草                  |
| その他の留意事項    |                                                                                                     |                     |

## 6 1 ラディッシュ

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                      |                                  |
|-------------|-----------------------------------------------------|----------------------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。 |                                  |
| 化学肥料低減技術    | ○有機質肥料施用技術<br>・ 有機質肥料を施用する。                         |                                  |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                            | 対象病虫害等                           |
|             | ○生物農薬利用技術<br>(天敵昆虫・ダニ類)<br>(天敵微生物)<br>(B T 剤)       | アブラムシ類など<br>アブラムシ類、軟腐病<br>アオムシなど |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                       | 病虫害                              |
|             | ○熱利用土壌消毒技術                                          | 立枯病                              |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                        | マハモクグリハエなど                       |
|             |                                                     |                                  |
| その他の留意事項    |                                                     |                                  |

## 6 2 その他根菜類

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                                         |            |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br><br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                                |            |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br><br>・ 局所施肥及び追肥体系とする。<br><br>○肥効調節型肥料施用技術<br><br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br><br>○有機質肥料施用技術<br><br>・ 有機質肥料を施用する |            |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                               | 対象病虫害等     |
|             | ○生物農薬利用技術                                                                                                              | 申請時に別途協議する |
|             | ○対抗植物利用技術                                                                                                              |            |
|             | ○抵抗性品種栽培技術                                                                                                             |            |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                                          |            |
|             | ○熱利用土壌消毒技術                                                                                                             |            |
|             | ○光利用技術                                                                                                                 |            |
|             | ○被覆栽培技術                                                                                                                |            |
|             | ○機械除草技術                                                                                                                |            |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                                               |            |
| その他の留意事項    |                                                                                                                        |            |

[果樹]

6.3 かんきつ（温州みかん、中晩生かんきつ）

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                                                                                                                                               |                |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 有機質資材等の施用技術 | <p>○たい肥等有機質資材施用技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。</li> </ul> <p>○緑肥作物利用技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緑肥作物などによる草生栽培を導入し、土壌の浸食防止とともに、地力の維持強化を行う。</li> </ul>     |                |
| 化学肥料低減技術    | <p>○肥効調節型肥料施用技術</p> <p>○有機質肥料施用技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。</li> </ul> <p>○マルチドリップ栽培技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 点滴液肥供給システムにより窒素利用効率が上がるため、施肥窒素量を低減できる。</li> </ul> |                |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                                                                                                                                     | 対象病虫害等         |
|             | ○生物農薬利用技術(天敵微生物)                                                                                                                                                                                                             | ゴマダラカミキリなど     |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                                                                                                                                                | 病虫害            |
|             | ○被覆栽培技術                                                                                                                                                                                                                      | 黒点病、かいよう病、そうか病 |
|             | ○機械除草技術                                                                                                                                                                                                                      | 雑草             |
|             | ○マルチ栽培技術<br>(フィルム、わら、被覆植物)                                                                                                                                                                                                   | 褐色腐敗病<br>雑草    |
| その他の留意事項    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土壌診断を行い、過剰な成分の集積が見られる園地では、単肥等の施用により、化学肥料由来の窒素の低減を実施する。</li> <li>・ 粘着シートを用いた発生予察により、効率的にアザミヤカ類を防除することが可能。</li> </ul>                                                                 |                |

## 6 4 かき

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                                                                                                                                           |                                              |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | <p>○たい肥等有機質資材施用技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。</li> </ul> <p>○緑肥作物利用技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緑肥作物などによる草生栽培を導入し、土壌の浸食防止とともに、地力の維持強化を行う。</li> </ul> |                                              |
| 化学肥料低減技術    | <p>○肥効調節型肥料施用技術</p> <p>○有機質肥料施用技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。</li> </ul>                                                                                                            |                                              |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                                                                                                                                 | 対象病虫害等                                       |
|             | ○生物農薬利用技術(B T 剤)                                                                                                                                                                                                         | カキノハタムシ <sup>※</sup> など                      |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                                                                                                                                            | 病虫害                                          |
|             | ○フェロモン剤利用技術                                                                                                                                                                                                              | チャハマキ、チャノコカクモンハマキなど                          |
|             | ○機械除草技術                                                                                                                                                                                                                  | 雑草                                           |
|             | ○マルチ栽培技術（被覆植物）                                                                                                                                                                                                           | 雑草                                           |
|             | ○その他技術（荒皮削り）                                                                                                                                                                                                             | フジコカカイ <sup>※</sup> ラムシ、カキノハタムシ <sup>※</sup> |
| その他の留意事項    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土壌診断を行い、過剰な成分の集積が見られる園地では、単肥等の施用により、化学肥料由来の窒素の低減を実施する。</li> <li>・ 発生予察により、効率的にフジコカカイ<sup>※</sup>ラムシを防除することが可能。</li> </ul>                                                       |                                              |

## 65 なし

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                                  |                      |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。<br>○緑肥作物利用技術<br>・ 緑肥作物などによる草生栽培を導入し、土壌の浸食防止とともに、地力の維持強化を行う。 |                      |
| 化学肥料低減技術    | ○肥効調節型肥料施用技術<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。                                                             |                      |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                        | 対象病虫害等               |
|             | ○生物農薬利用技術（B T 剤）<br>（天敵）                                                                                        | ハマキムシ類<br>ハダニ        |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                                   | 害虫                   |
|             | ○光利用技術（防蛾灯）                                                                                                     | アゲハコノハ、ヒメグサリバなど      |
|             | ○被覆栽培技術（袋掛け）                                                                                                    | 黒斑病、黒星病<br>カメムシ類、ヤガ類 |
|             | ○被覆栽培技術（雨よけ）                                                                                                    | 黒斑病、黒星病、赤星病、輪紋病      |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                                                    | カメムシ類など              |
|             | ○フェロモン剤利用技術                                                                                                     | ナシヒメシクイ、ハマキムシ類など     |
|             | ○機械除草技術                                                                                                         | 雑草                   |
|             | ○その他技術（落葉処理）                                                                                                    | 黒星病、炭疽病              |
| その他の留意事項    | 土壌診断を行い、過剰な成分の集積が見られる園地では、単肥等の施用により、化学肥料由来の窒素の低減を実施する。                                                          |                      |

## 6 6 ぶどう

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                                  |                      |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。<br>○緑肥作物利用技術<br>・ 緑肥作物などによる草生栽培を導入し、土壌の浸食防止とともに、地力の維持強化を行う。 |                      |
| 化学肥料低減技術    | ○肥効調節型肥料施用技術<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。                                                             |                      |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                        | 対象病虫害等               |
|             | ○生物農薬利用技術（天敵）                                                                                                   | ハダニ                  |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                                   | 病害                   |
|             | ○被覆栽培技術（袋掛け）                                                                                                    | 晩腐病、黒とう病、アザミヤ類       |
|             | ○被覆栽培技術（雨よけ）                                                                                                    | 黒とう病、枝膨れ病<br>晩腐病、べと病 |
|             | ○フェロモン剤利用技術（ハウス）                                                                                                | ハスモンヨトウなど            |
|             | ○機械除草技術                                                                                                         | 雑草                   |
|             | ○その他技術（粗皮はぎ）                                                                                                    | コウモリガ、枝膨病、褐斑病        |
|             | ○その他技術（巻きつる除去）                                                                                                  | 晩腐病、黒とう病             |
| その他の留意事項    | 土壌診断を行い、過剰な成分の集積が見られる園地では、単肥等の施用により、化学肥料由来の窒素の低減を実施する。                                                          |                      |

## 67 もも

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                                  |                  |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。<br>○緑肥作物利用技術<br>・ 緑肥作物などによる草生栽培を導入し、土壌の浸食防止とともに、地力の維持強化を行う。 |                  |
| 化学肥料低減技術    | ○肥効調節型肥料施用技術<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。                                                             |                  |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                        | 対象病害虫等           |
|             | ○生物農薬利用技術（ＢＴ剤）                                                                                                  | ハマキムシ類           |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                                   | 病害虫              |
|             | ○被覆栽培技術（袋掛け）                                                                                                    | 黒星病、灰星病など        |
|             |                                                                                                                 | カメムシ類など          |
|             | ○被覆栽培技術（雨よけ）                                                                                                    | 黒星病、灰星病、せん孔細菌病など |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                                                    | カメムシ類など          |
|             | ○フェロモン剤利用技術                                                                                                     | ナシヒメシクイ、ハマキムシ類など |
| その他の留意事項    | ○機械除草技術                                                                                                         | 雑草               |
|             | 土壌診断を行い、過剰な成分の集積が見られる園地では、単肥等の施用により、化学肥料由来の窒素の低減を実施する。                                                          |                  |

## 68 すもも

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                                  |                  |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。<br>○緑肥作物利用技術<br>・ 緑肥作物などによる草生栽培を導入し、土壌の浸食防止とともに、地力の維持強化を行う。 |                  |
| 化学肥料低減技術    | ○肥効調節型肥料施用技術<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。                                                             |                  |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                        | 対象病虫害等           |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                                   | 害虫               |
|             | ○被覆栽培技術（雨よけ）                                                                                                    | 黒斑病、灰星病          |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                                                    | カメシ類、ヤガ類         |
|             | ○フェロモン剤利用技術                                                                                                     | ナシヒメシクイ、ハマキムシ類など |
|             | ○機械除草技術                                                                                                         | 雑草               |
| その他の留意事項    | 土壌診断を行い、過剰な成分の集積が見られる園地では、単肥等の施用により、化学肥料由来の窒素の低減を実施する。                                                          |                  |

## うめ

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                                  |        |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。<br>○緑肥作物利用技術<br>・ 緑肥作物などによる草生栽培を導入し、土壌の浸食防止とともに、地力の維持強化を行う。 |        |
| 化学肥料低減技術    | ○肥効調節型肥料施用技術<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。                                                             |        |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                        | 対象病虫害等 |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                                   | 病虫害    |
|             | ○フェロモン剤利用技術                                                                                                     | コスカシハ  |
|             | ○機械除草技術                                                                                                         | 雑草     |
| その他の留意事項    | 土壌診断を行い、過剰な成分の集積が見られる園地では、単肥等の施用により、化学肥料由来の窒素の低減を実施する。                                                          |        |

## 70 キウイフルーツ

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                                                                                                                                           |                    |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | <p>○たい肥等有機質資材施用技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。</li> </ul> <p>○緑肥作物利用技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緑肥作物などによる草生栽培を導入し、土壌の浸食防止とともに、地力の維持強化を行う。</li> </ul> |                    |
| 化学肥料低減技術    | <p>○肥効調節型肥料施用技術</p> <p>○有機質肥料施用技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。</li> </ul>                                                                                                            |                    |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                                                                                                                                 | 対象病虫害等             |
|             | （削除）                                                                                                                                                                                                                     | （削除）               |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                                                                                                                                            | 病虫害                |
|             | ○被覆栽培技術（袋掛け）                                                                                                                                                                                                             | 果実軟腐病<br>カラムシ類     |
|             | ○フェロモン剤利用技術                                                                                                                                                                                                              | コスカシハ <sup>※</sup> |
|             | ○機械除草技術                                                                                                                                                                                                                  | 雑草                 |
| その他の留意事項    | <p>土壌診断を行い、過剰な成分の集積が見られる園地では、単肥等の施用により、化学肥料由来の窒素の低減を実施する。</p>                                                                                                                                                            |                    |

## 71 いちじく

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                                                                                                                                           |                           |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | <p>○たい肥等有機質資材施用技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。</li> </ul> <p>○緑肥作物利用技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緑肥作物などによる草生栽培を導入し、土壌の浸食防止とともに、地力の維持強化を行う。</li> </ul> |                           |
| 化学肥料低減技術    | <p>○肥効調節型肥料施用技術</p> <p>○有機質肥料施用技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。</li> </ul>                                                                                                            |                           |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                                                                                                                                 | 対象病虫害等                    |
|             | ○生物農薬利用技術（天敵微生物）<br>（天敵）                                                                                                                                                                                                 | ゴマダラカミキリ、ネブセンチュウなど<br>ハダニ |
|             | ○抵抗性品種栽培・台木利用技術                                                                                                                                                                                                          | 株枯病                       |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                                                                                                                                            | 病虫害                       |
|             | ○被覆栽培技術（雨よけ）                                                                                                                                                                                                             | そうか病、疫病、黒葉枯病              |
|             | ○被覆栽培技術（シートマルチ）                                                                                                                                                                                                          | 疫病                        |
|             | ○被覆栽培技術（袋掛け）                                                                                                                                                                                                             | アザミウマ類                    |
|             | ○機械除草技術                                                                                                                                                                                                                  | 雑草                        |
|             | ○光利用技術（反射シート）                                                                                                                                                                                                            | アザミウマ類                    |
| その他の留意事項    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土壌診断を行い、過剰な成分の集積が見られる園地では、単肥等の施用により、化学肥料由来の窒素の低減を実施する。</li> <li>・ 粘着シートを用いた発生予察により、効率的にアザミウマ類を防除することが可能。</li> </ul>                                                             |                           |

## 7.2 びわ

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                                                                                                                                           |              |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|
| 有機質資材等の施用技術 | <p>○たい肥等有機質資材施用技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。</li> </ul> <p>○緑肥作物利用技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緑肥作物などによる草生栽培を導入し、土壌の浸食防止とともに、地力の維持強化を行う。</li> </ul> |              |
| 化学肥料低減技術    | <p>○肥効調節型肥料施用技術</p> <p>○有機質肥料施用技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。</li> </ul>                                                                                                            |              |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                                                                                                                                 | 対象病虫害等       |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                                                                                                                                            | 病害           |
|             | ○被覆栽培技術（雨よけ）                                                                                                                                                                                                             | がんしゅ病、ごま色斑点病 |
|             | ○被覆栽培（袋掛け）                                                                                                                                                                                                               | 灰斑病、カラムシ類など  |
|             | ○機械除草技術                                                                                                                                                                                                                  | 雑草           |
| その他の留意事項    | 土壌診断を行い、過剰な成分の集積が見られる園地では、単肥等の施用により、化学肥料由来の窒素の低減を実施する。                                                                                                                                                                   |              |

## 7.3 くり

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                                                                                                                                           |        |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| 有機質資材等の施用技術 | <p>○たい肥等有機質資材施用技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。</li> </ul> <p>○緑肥作物利用技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緑肥作物などによる草生栽培を導入し、土壌の浸食防止とともに、地力の維持強化を行う。</li> </ul> |        |
| 化学肥料低減技術    | <p>○肥効調節型肥料施用技術</p> <p>○有機質肥料施用技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。</li> </ul>                                                                                                            |        |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                                                                                                                                 | 対象病虫害等 |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                                                                                                                                            | 害虫     |
|             | ○機械除草技術                                                                                                                                                                                                                  | 雑草     |
| その他の留意事項    | 土壌診断を行い、過剰な成分の集積が見られる園地では、単肥等の施用により、化学肥料由来の窒素の低減を実施する。                                                                                                                                                                   |        |

## 74 りんご

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                                                                                                                                           |                  |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | <p>○たい肥等有機質資材施用技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。</li> </ul> <p>○緑肥作物利用技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緑肥作物などによる草生栽培を導入し、土壌の浸食防止とともに、地力の維持強化を行う。</li> </ul> |                  |
| 化学肥料低減技術    | <p>○肥効調節型肥料施用技術</p> <p>○有機質肥料施用技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。</li> </ul>                                                                                                            |                  |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                                                                                                                                 | 対象病虫害等           |
|             | ○生物農薬利用技術（B T 剤）                                                                                                                                                                                                         | ハマキムシ類           |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                                                                                                                                            | 病虫害              |
|             | ○被覆栽培技術（袋掛け）                                                                                                                                                                                                             | 斑点落葉病、黒星病など      |
|             | ○被覆栽培技術（雨よけ）                                                                                                                                                                                                             | 黒星病など            |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                                                                                                                                                             | カミムシ類など          |
|             | ○フェロモン剤利用技術                                                                                                                                                                                                              | キンモンホリガ、ハマキムシ類など |
| その他の留意事項    | ○機械除草技術                                                                                                                                                                                                                  | 雑草               |
|             | <p>土壌診断を行い、過剰な成分の集積が見られる園地では、単肥等の施用により、化学肥料由来の窒素の低減を実施する。</p>                                                                                                                                                            |                  |

## 7 5 その他果樹

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                                  |            |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。<br>○緑肥作物利用技術<br>・ 緑肥作物などによる草生栽培を導入し、土壌の浸食防止とともに、地力の維持強化を行う。 |            |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 局所施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。                              |            |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                        | 対象病虫害等     |
|             | ○生物農薬利用技術                                                                                                       | 申請時に別途協議する |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                                   |            |
|             | ○被覆栽培技術                                                                                                         |            |
|             | ○フェロモン剤利用技術                                                                                                     |            |
|             | ○機械除草技術                                                                                                         |            |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                                        |            |
| その他の留意事項    | 土壌診断を行い、過剰な成分の集積が見られる園地では、単肥等の施用により、化学肥料由来の窒素の低減を実施する。                                                          |            |

[花き]

7 6 きく (施設)

| 区 分         | 実施内容 (導入する生産方式)                                                                                                |                   |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                            |                   |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 点滴かん水施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。 |                   |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                       | 対象病虫害等            |
|             | ○生物農薬利用技術(B T 剤)                                                                                               | オオタバコガ、ハスモンヨトリ    |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                                  | 害虫                |
|             | ○熱利用土壌消毒技術                                                                                                     | 雑草、土壌伝染性病害、センチュウ類 |
|             | ○光利用技術 (防蛾灯)                                                                                                   | ヤガ類               |
|             | (シルバーマルチ)                                                                                                      | アザミウマ類、アブラムシ類     |
|             | ○被覆栽培技術(防虫網)                                                                                                   | タバコガ類、ヨトウムシ類      |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                                       | 雑草                |
| その他の留意事項    |                                                                                                                |                   |

## 77 きく（露地）

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                                         |                      |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | <input type="radio"/> たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                               |                      |
| 化学肥料低減技術    | <input type="radio"/> 肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br><input type="radio"/> 有機質肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。 |                      |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                               | 対象病虫害等               |
|             | <input type="radio"/> 生物農薬利用技術（B T 剤）                                                                                  | 材タハコガ、ハスモンヨトリ        |
|             | <input type="radio"/> 天然物質由来農薬利用技術                                                                                     | 害虫                   |
|             | <input type="radio"/> 光利用技術（防蛾灯）<br>（シルバーマルチ）                                                                          | ヤガ類<br>アザミウマ類、アブラムシ類 |
|             | <input type="radio"/> 被覆栽培技術（雨よけ）                                                                                      | 黒斑病、褐斑病、斑点細菌病        |
|             | <input type="radio"/> マルチ栽培技術                                                                                          | 雑草                   |
| その他の留意事項    |                                                                                                                        |                      |

## 78 ばら

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                                                                                                |             |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| 有機質資材等の施用技術 | <input type="radio"/> たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                                                                      |             |
| 化学肥料低減技術    | <input type="radio"/> 局所施用技術<br>・ 点滴かん水施肥及び追肥体系とする。<br><input type="radio"/> 肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br><input type="radio"/> 有機質肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。 |             |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                                                                                      | 対象病虫害等      |
|             | <input type="radio"/> 生物農薬利用技術（天敵）                                                                                                                                            | ダニ類         |
|             | <input type="radio"/> 天然物質由来農薬利用技術                                                                                                                                            | 病虫害         |
|             | <input type="radio"/> 光利用技術（赤色 LED）                                                                                                                                           | ミナミキイロアザミウマ |
|             | <input type="radio"/> マルチ栽培技術                                                                                                                                                 | 雑草          |
| その他の留意事項    |                                                                                                                                                                               |             |

## 79 カーネーション

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                                 |            |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                            |            |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 点滴かん水施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。 |            |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                       | 対象病虫害等     |
|             | ○抵抗性品種栽培技術                                                                                                     | 立枯病        |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                                  | 害虫         |
|             | ○熱利用土壌消毒技術                                                                                                     | 立枯病        |
|             | ○光利用技術（防蛾灯）                                                                                                    | ヤガ類        |
|             | （赤色 LED）                                                                                                       | シバミキロアザミウマ |
|             | ○被覆栽培技術(防虫網)                                                                                                   | タバコガ類      |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                                       | 雑草         |
| その他の留意事項    |                                                                                                                |            |

## 80 シンテッポウユリ

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                                 |        |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                            |        |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 点滴かん水施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。 |        |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                       | 対象病虫害等 |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                                  | 害虫     |
|             | ○被覆栽培技術(雨よけ)                                                                                                   | 葉枯れ病   |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                                       | 雑草     |
| その他の留意事項    |                                                                                                                |        |

## 81 ダリア

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                                 |           |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                            |           |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 点滴かん水施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。 |           |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                       | 対象病虫害等    |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                                  | 害虫        |
|             | ○被覆栽培技術（雨よけ）                                                                                                   | 花枯病、灰色かび病 |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                                       | 雑草        |
| その他の留意事項    |                                                                                                                |           |

## 8.2 ストック

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                                 |               |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                            |               |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 点滴かん水施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。 |               |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                       | 対象病虫害等        |
|             | ○生物農薬利用技術(B T 剤)                                                                                               | コナガ           |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                                  | 害虫            |
|             | ○光利用技術（シルバーマルチ）                                                                                                | アザミウマ類、アブラムシ類 |
|             | ○被覆栽培技術(防虫網)                                                                                                   | コナガ           |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                                       | 雑草            |
| その他の留意事項    |                                                                                                                |               |

### 8.3 トルコギョウ

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                                 |                      |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                            |                      |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 点滴かん水施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。 |                      |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                       | 対象病虫害等               |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                                  | 害虫                   |
|             | ○熱利用土壌消毒技術                                                                                                     | 雑草、土壌伝染性病害、センチュウ類    |
|             | ○土壌還元消毒技術                                                                                                      | 土壌伝染性病害など            |
|             | ○光利用技術（防蛾灯）<br>（シルバーマルチ）                                                                                       | ヤガ類<br>アザミウマ類、アブラムシ類 |
|             | ○被覆栽培技術(防虫網)                                                                                                   | ヨトウムシ類               |
| その他の留意事項    |                                                                                                                |                      |

## 8 4 ガーベラ

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                                 |                      |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                            |                      |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 点滴かん水施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。 |                      |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                       | 対象病虫害等               |
|             | ○生物農薬利用技術（天敵）                                                                                                  | ダニ類、アザミウマ類           |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                                  | 害虫                   |
|             | ○土壌還元消毒技術                                                                                                      | 土壌伝染性病害など            |
|             | ○光利用技術（防蛾灯）<br>(シルバーマルチ)                                                                                       | ヤガ類<br>アザミウマ類、アブラムシ類 |
|             | ○被覆栽培技術(防虫網)                                                                                                   | マメハモグリハエ             |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                                       | 雑草                   |
| その他の留意事項    |                                                                                                                |                      |

## 85 りんどう

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                                 |                      |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                            |                      |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 点滴かん水施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。 |                      |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                       | 対象病虫害等               |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                                  | 害虫                   |
|             | ○光利用技術（防蛾灯）<br>（シルバーマルチ）                                                                                       | ヤガ類<br>アザミウマ類、アブラムシ類 |
|             | ○被覆栽培技術（雨よけ）                                                                                                   | 葉枯れ病                 |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                                       | 雑草                   |
| その他の留意事項    |                                                                                                                |                      |

## 86 けいとう

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                               |         |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------|---------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                          |         |
| 化学肥料低減技術    | ○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。 |         |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                     | 対象病虫害等  |
|             | ○生物農薬利用技術(B T 剤)                                                             | チョウ目害虫等 |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                | 害虫      |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                 | アザミウマ類等 |
|             | ○被覆栽培技術（雨よけ）                                                                 | 病害      |
| その他の留意事項    | ○マルチ栽培技術                                                                     | 雑草      |
|             |                                                                              |         |

## 8 7 切り枝

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                               |        |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------|--------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                          |        |
| 化学肥料低減技術    | ○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。 |        |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                     | 対象病虫害等 |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                | 害虫     |
|             | ○被覆栽培技術(雨よけ)                                                                 | 病害     |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                     | 雑草     |
| その他の留意事項    |                                                                              |        |

## 8 8 花木・緑化木

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                                 |         |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                            |         |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 点滴かん水施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。 |         |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                       | 対象病虫害等  |
|             | ○生物農薬利用技術(B T 剤)                                                                                               | チョウ目害虫等 |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                                  | 害虫      |
|             | ○被覆栽培技術(雨よけ)                                                                                                   | 病害      |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                                       | 雑草      |
| その他の留意事項    |                                                                                                                |         |

## 8.9 その他花き

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                                                     |            |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br><br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                                            |            |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br><br>・ 点滴かん水施肥及び追肥体系とする。<br><br>○肥効調節型肥料施用技術<br><br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。<br><br>○有機質肥料施用技術<br><br>・ 基肥もしくは追肥または両方で施用する。 |            |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                                           | 対象病虫害等     |
|             | ○生物農薬利用技術                                                                                                                          | 申請時に別途協議する |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                                                      |            |
|             | ○熱利用土壌消毒技術                                                                                                                         |            |
|             | ○光利用技術                                                                                                                             |            |
|             | ○被覆栽培技術                                                                                                                            |            |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                                                           |            |
| その他の留意事項    |                                                                                                                                    |            |

[工芸作物]

9 0 茶

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                             |               |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。                                                        |               |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 局所施肥及び追肥体系とする。<br>○肥効調節型肥料施用技術<br>・ 被覆尿素肥料を施用する。<br>○有機質肥料施用技術<br>・ 菜種油粕、骨粉等の有機質肥料を春肥、秋肥として施用 |               |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                                   | 対象病虫害等        |
|             | ○生物農薬利用技術（B T 剤）                                                                                           | ハマキムシ類など      |
|             | ○抵抗性品種栽培・台木利用技術                                                                                            | 炭疽病、カイガラムシ類など |
|             | ○天然物質由来農薬利用技術                                                                                              | 病害            |
|             | ○光利用技術（防蛾灯）                                                                                                | ハマキムシ類        |
|             | ○被覆栽培技術（防虫網）                                                                                               | アザミウマ類など      |
|             | ○フェロモン剤利用技術                                                                                                | ハマキムシ類        |
|             | ○機械除草技術                                                                                                    | 雑草            |
| その他の留意事項    | ○土壌の通気性、有効土層の確保のために、8 月下旬頃に深耕を行う。<br>○E C センサーによる土壌診断に基づいて施肥を行う。                                           |               |

## 9 1 その他工芸作物

| 区 分         | 実施内容（導入する生産方式）                                                                                |            |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 有機質資材等の施用技術 | ○たい肥等有機質資材施用技術<br>・ 土壌診断に基づき、牛ふんたい肥又はバークたい肥等の施用を行う。<br><br>○緑肥作物利用技術<br>・ 緑肥作物などによる草生栽培を導入する。 |            |
| 化学肥料低減技術    | ○局所施用技術<br>・ 局所施肥及び追肥体系とする。<br><br>○肥効調節型肥料施用技術<br><br>○有機質肥料施用技術                             |            |
| 化学農薬低減技術    | 導入する個別技術                                                                                      | 対象病虫害等     |
|             | ○被覆栽培技術                                                                                       | 申請時に別途協議する |
|             | ○機械除草技術                                                                                       |            |
|             | ○マルチ栽培技術                                                                                      |            |
| その他の留意事項    |                                                                                               |            |

### 第3 温室効果ガスの排出量の削減に資する事業活動（第2号活動）の内容

温室効果ガスの排出量の削減に資する事業活動の主な取組例

なお、以下の取組に限らず、現場の実態に即した形で取り組むことが可能。

| 取組例                         | 取組の概要・効果                                                                                                                                                                                                                            | 設備導入の内容（例）                                                                                                                                                                              | 備考                                                                                                                                                                                      |
|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 施設園芸における省エネルギー化の取組          | <p>以下の取組等により、燃油使用量を削減する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内張カーテンや保温性の高い被覆資材の利用による保温性の向上</li> <li>・温度ムラの改善や変温管理の実施、作物の局所加温技術の導入</li> <li>・廃熱や廃CO<sub>2</sub>の回収、利用</li> <li>・ヒートポンプや木質バイオマス暖房機の導入、再生可能エネルギーの利用</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・内張カーテン施設</li> <li>・自動換気装置</li> <li>・ヒートポンプ</li> <li>・循環扇</li> <li>・多段式サーモ装置</li> <li>・ウォーターカーテン</li> <li>・局所加温技術の導入</li> <li>・環境測定機器</li> </ul> |                                                                                                                                                                                         |
| 農業機械の省エネルギー化の取組             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動操舵装置を備えたトラクターの利用による燃料使用量を削減</li> <li>・バイオディーゼル燃料の利用</li> </ul>                                                                                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動操舵装置</li> </ul>                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                         |
| 水稻栽培における中干し期間の延長<br>間断灌漑の実施 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中干し期間を慣行よりも1週間程度延長し、水田土壌内のメタン生成菌の活動を抑制することにより、メタン排出量を削減</li> <li>・さらに、湛水と落水を繰り返す間断灌漑を組み合わせることで、より効果的にメタンの削減が可能</li> </ul>                                                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT水管理システム</li> </ul>                                                                                                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・詳細は、Jクレジット制度の方法論を参照すること。</li> <li>・過度な中干延長により収量減の可能性があるため、水田の状況や稲の生育状況を踏まえて適切な範囲で実施すること。</li> <li>・水生生物や水田生態系への影響を考慮し、その実施時期に留意すること。</li> </ul> |
| 水稻収穫後における秋耕                 | <p>水稻収穫後、秋のうちに耕うんを行い、稲わらや稲株をすき込むことにより、湛水前に稲わら等の分解が進み、メタン排出量の削減が可能。</p>                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                         |

|                                    |                                                                                      |   |                            |
|------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|---|----------------------------|
| 部分浅耕一工程播種技術の導入                     | 部分浅耕一工程播種技術の導入により、トラクタの燃料使用量を削減                                                      |   |                            |
| 茶園土壌における N <sub>2</sub> O の排出抑制の取組 | ・茶の栽培において、窒素含有化学肥料又は、有機肥料に代えて、硝化抑制剤入りの化学肥料又は石灰窒素を含む複合肥料を施肥することにより、土壌からの一酸化二窒素の排出を抑制。 | － | ・詳細は、J クレジット制度の方法論を参照すること。 |

#### 第4 その他の環境負荷低減事業活動（第3号活動）の内容

農林水産大臣が定める主な取組例等

なお、以下の取組に限らず、告示で定める範囲内において、現場の実態に即した形で取り組むことが可能。

| 取組例                          | 取組の概要・効果                                                                                                        | 設備導入の内容<br>(例)                              | 備考                                                                                    |
|------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 土壌を使用しない栽培における化学肥料・化学農薬の使用低減 | ・環境制御装置の導入や健康な種苗の使用等により、化学肥料・化学農薬の使用を低減。                                                                        | ・環境制御装置                                     |                                                                                       |
| バイオ炭の農地施用                    | ・もみ殻や果樹剪定枝、木竹等を原料とする「バイオ炭」を農地土壌に施用することにより、本来であれば排出される二酸化炭素を炭素として農地土壌に貯留。                                        | ・バイオ炭製造装置                                   | ・詳細は、Jクレジット制度の方法論を参照すること。<br>・「バイオ炭施用量上限の目安について」を踏まえ、過剰な施用により植物の生育に悪影響が生じないように留意すること。 |
| 生分解性マルチの利用                   | ・作物収穫後に土壌にすき込むことで、微生物によって分解され、廃プラスチックの排出を抑制。                                                                    | —                                           | ・「生分解性マルチの活用事例」（農林水産省生産局作成）を参照すること。<br>・強風による飛散や河川等への流出に留意し、土壌中にしっかりとすき込むこと。          |
| プラスチック被覆肥料の代替技術の導入           | 以下の取組等により、プラスチック被覆肥料の被覆殻の流出を抑制。<br>・プラスチックを使用しない、または使用量を削減した緩効性肥料やペースト肥料への切り替え。<br>・浅水代かき、排水口ネットの設置等の流出防止対策の実施。 | ・流し込み施肥機<br>・ペースト施肥機<br>・レーザーレベラー<br>・水田ハロー | ・「プラスチック被覆肥料の代替資材・プラスチック被膜殻の流出防止対策に係る事例」（農林水産省生産局作成）を参照すること。                          |
| 化学肥料・化学農薬の低減の取組と組み合わせた環境保全   | ・土壌診断を踏まえた適正施肥や、総合防除の実践等を通じて化学肥料・化学農薬の使用を低減。                                                                    |                                             |                                                                                       |

## 第5 環境負荷低減事業活動の促進を図るための措置に関する事項

### 1 土壌診断の励行

たい肥等の有機質資材の適切な施用を行うためには、土壌診断を実施し、その結果に基づき、たい肥等の施用量を設定することが必要である。

このため、農業者は、環境負荷低減事業活動の実施に当たっては、県下10カ所の普及指導センターやJA全農ふくれんの土壌診断センター、その他分析機関等の積極的な活用を図るとともに、それらの診断結果を踏まえた普及指導員等からの施肥量の決定等に関するアドバイスを基に、土壌の改善と施肥の合理化に努める。

### 2 適正で効率的な施肥の実施

適正で効率的な施肥を行うには、局所施肥や肥効調節型肥料の有効活用などが重要である。

局所施肥は、農作物の根が利用しやすい位置に肥料を集中的に施す必要があるため、農作物の栽植様式に合わせた施肥機による肥料施用量の調節等が技術的に重要な要素となる。

また、肥効調節型肥料の利用に当たっては、肥効発現の速度の程度が異なるものが多数流通しているため、農業者は栽培する農作物の吸肥特性に合致した肥料の適切な選択を行う。

この際、必要に応じて、普及指導センター及び農協等の指導機関は、環境負荷低減事業活動を導入しようとする農業者に対して適切な指導を行う。

### 3 発生予察に基づく的確な防除の実施

病害虫による農作物の被害を防ぐためには、病害虫の発生時期、発生量を予測し適期に防除することが重要である。

病害虫の発生は、気象条件、施設内の環境条件、作物の生育状態、品種、施肥、作期、作型、前作物、作付体系などに左右されるため、農業者は気象予報に留意するとともに、ほ場ごとに病害虫の発生状況を定期的に把握し、防除を実施することが必要である。

農業者は、福岡県病害虫防除所等が発表する発生予察情報を活用して効率的な防除を行うよう努める。

(沿革)

1 策定 令和7年3月28日 6食地産第2840号

2 「福岡県持続性の高い農業生産方式の導入に関する指針」は、この指針の施行日をもって廃止する。

(参考資料)

## 各技術の内容等について

### 1 有機質資材等の施用技術

| 技術             | 技術の概要                                                |
|----------------|------------------------------------------------------|
| ①たい肥等有機質資材施用技術 | 土壌診断を行い、その結果に基づき、C／Nが概ね10～150 の範囲にあるたい肥等有機質資材を施用する技術 |
| ②緑肥作物利用技術      | 土壌診断を行い、その結果に基づき、緑肥作物を栽培して、農地にすき込む技術                 |
| ③その他技術         | 深耕、輪作、その他土壌の性質を改善する効果が高い技術。                          |

### 2 化学肥料低減技術

| 技術           | 技術の概要                                                                            |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| ①局所施用技術      | 肥料を作物の根の周辺に局所的に施用する技術                                                            |
| ②肥効調節型肥料施用技術 | 普通肥料のうち、いわゆる被覆肥料、化学合成緩効性肥料及び硝酸化成抑制剤入り肥料を施用する技術                                   |
| ③有機質肥料施用技術   | 有機質（動植物質のものに限る。）を原料として使用する肥料を施用する技術                                              |
| ④その他技術       | 可変施肥田植機の導入、ドローンによる施肥、ドリップ施肥、低成分施肥、かん注施肥、緑肥、たい肥の施用、流し込み施肥、その他化学肥料の使用量の低減効果を有する技術等 |

### 3 化学農薬低減技術

| 技術              | 技術の概要                                                                            |
|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| ①温湯種子消毒技術       | 種子を温湯に浸漬することにより、当該種子に付着・侵入している有害動植物を駆除する技術                                       |
| ②生物農薬利用技術       | 害虫の捕食、害虫への寄生等を行う天敵を利用し、当該害虫を防除する技術                                               |
| ③対抗植物利用技術       | 土壌中の有害動植物を駆除し、又はそのまん延を防止する効果を有する植物を栽培する技術                                        |
| ④抵抗性品種栽培・台木利用技術 | 有害動植物に対して抵抗性を持つ品種に属する農作物を栽培し、又は当該農作物を台木として利用する技術                                 |
| ⑤天然物質由来農薬利用技術   | 有機農産物の日本農林規格（平成17年10月27日農林水産省告示第1605号）別表2に掲げる農薬（有効成分が化学的に合成されていないものに限る。）等を利用する技術 |

|             |                                                                                      |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| ⑥熱利用土壌消毒技術  | 土壌に熱を加えてその温度が上昇することにより、土壌中の有害動植物を駆除する技術                                              |
| ⑦土壌還元消毒技術   | 土壌中の酸素の濃度を低下させることにより、土壌中の有害動植物を駆除する技術                                                |
| ⑧光利用技術      | 有害動植物を駆除し、又はそのまん延を防止するため、有害動植物を誘引し、若しくは忌避させ、又は孢子発芽などその生理的機能を抑制する効果を有する光を利用する技術       |
| ⑨被覆栽培技術     | 農作物を有害動植物の付着を防止するための資材で被覆する技術                                                        |
| ⑩フェロモン剤利用技術 | 害虫の雌が放出する種特有の性フェロモンを利用し、雄をトラップで捕殺したり、交信を攪乱する技術                                       |
| ⑪機械除草技術     | 有害植物を機械的方法により駆除する技術                                                                  |
| ⑫除草用動物利用技術  | 有害植物を駆除するための小動物の農地における放し飼いをを行う技術                                                     |
| ⑬米ぬか利用技術    | 有害植物の発生を抑制するため、水田に米ぬかを散布する技術                                                         |
| ⑭マルチ栽培技術    | 土壌の表面を有害動植物のまん延を防止するための資材等で被覆する技術                                                    |
| ⑮その他技術      | 秋耕、畦畔の漏水防止、循環扇利用、ドローンによるピンポイント防除、輪作、環境制御技術、音波利用技術、振動利用技術、その他化学農薬の使用量の低減効果を有すると認める技術等 |